

2-8

地域住民も参加できるパソコン教室の活動報告

地域福祉の核となる施設を目指して

地域交流活動

パソコン教室

養護老人ホーム 大森老人ホーム

発表者：丸山 浩史	共同研究者：星野 恵
所在地：大田区大森本町2-2-2	
TEL：03-3762-8851	E-mail：oomori_home@triton.ocn.ne.jp
FAX：03-3762-8920	URL：http://www6.ocn.ne.jp/~sousei4/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	高齢者在宅サービスセンターが併設した定員130名の養護老人ホーム。都住や体育館、児童館等がある複合施設の1階から4階までが養護老人ホーム。東京都からの受託運営から自主運営をきっかけに地域福祉への取り組みとして地域サービス推進事業を立ち上げる。その一環としてパソコン教室・そろばん教室・ホームでランチ（地域住民がホームで食事が出来るサービス）の開催・大田区の催し（おおたフェスタ）への参加を行い、地域への開放に取り組んでいる。
----------------------------	--

〈取り組んだ課題〉

地域福祉の核となる施設を目指す一環として、パソコン教室という交流の場を通じた施設設備の開放

〈具体的な取り組み〉

- 1 H16年5月、施設の地域サービス推進委員会にてパソコン教室開催を決定
- 2 H16年8月、大田ボランティアセンターからの講師が決定する。
- 4 9月地域にポスター掲示と近隣住民へチラシ配布などの広報を実施。パソコンは、退所利用者の家族からの寄付と古くなった事務用のパソコンを使用。
- 5 H16年10月初心者向けのパソコン教室説明会を実施。10月16日よりH17年3月までに19回の教室を開催する事ができた。（当初は、参加希望者が多く、時間を2回に分けて実施）
- 6 参加者のパソコンの上達が目まれ、参加者は卒業という形をとり、H18年9月より新たに新規参加者を募集する。（卒業した方でもホームの出入りを自由にした為、新規の参加者とも交流ができた）
- 7 H19年度より、教室を卒業した参加者の活動の場としてパソコンクラブ開設（クラブでは更に高度な技術の取得を目指している）
- 8 20年9月、参加の上達により、新規参加者を募集し教室を続けている。

〈活動の成果と評価〉

- 1 パソコンの知識・技術の取得ができた（施設のクラブ発表会にてパワーポイントを使いパソコンクラブの活動発表を行えるまでになる）
- 2 パソコン教室を通じて、より地域住民との交流が促進でき、地域住民からホームに対する理解も深まり、他クラブへの参加も得られている。
- 3 教室からパソコンクラブへと発展ができ参加者同士で教えあう事が出来るようになる。他に写真撮影・印刷、絵画制作、情報収集、マウスを使ったりリハビリ等、日常的にパソコンを使った活動ができるようになり参加したホーム利用者の意欲の向上や生活の充実にも繋がっている。

〈今後の課題〉

- 1 参加希望者が多く、ボランティア講師の負担が大きくなってきている。
- 2 キャンセル待ちが出るほど、教室の人气があり、希望者がすぐに参加できない。
- 3 職員の体制、ボランティア確保の点から現状では教室の拡大が難しい。
- 4 地域の高齢者や主婦など幅広い年齢層に向けた広報活動をし、一層地域交流の場の充実が求められる。
- 5 地域福祉の核となる施設になるべく更なる地域サービスへの取り組みが必要である。

【メモ欄】